

海外安全対策情報（平成29年10月～12月）

1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件やショッピングモールでの通り魔事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2017年1月1日から9月30日（2018年1月16日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は64,949件で、前年同時期と比較し8.6%減少しています。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

ア 窃盗24,415件（前年比13.5%減）

（うち住宅対象侵入窃盗）6,913件（同9.7%減）

イ 公然窃盗1,147件（同22.4%減）

ウ 恐喝107件（同25.9%増）

エ 詐欺3,122件（同13.8%減）

オ 暴力犯罪2,925件（同1.6%減）

カ 殺人及び殺人未遂253件（同20.7%減）

キ 重傷傷害532件（同10.0%減）

ク 強盗128件（同26.0%減）

ケ 強姦及び強姦未遂146件（同40.4%増）

（2）邦人被害事案は報告されていません。

（3）2017年10月～12月における主な被害事案は以下のとおりです（当地の報道から作成）。

ア 10月4日、バラノヴィチ市の通りで、28歳の住民が通りがかった40歳程度と推定される男性にたばこを要求されたが、それを断ったところ、男はナイフでその住民を切りつけた。

犯人は現在も逃走中である。

イ 11月4日、ブレスト市内で男性の変死体が発見された。調査の結果、死亡していたのは35歳のタクシー運転手であり、搜索の結果、ブレスト州住民3人が、車を奪うためにお

こした犯行であったことが明らかになった。

犯人たちは既に逮捕・拘留され、起訴されている。

ウ 12月17日、インターネット上に、若者がミンスク市内のバス停で通行人に爆竹を投げている様子を撮影した動画が投稿された。同市十月地区内務局により、爆竹を投げていた若者は市内に在住する18歳の学生と特定され、十月地区裁判所の判決により、同人には460ベラルーシ・ルーブルの罰金が科された。

エ 12月26日、ミンスク市内の信号機のない横断歩道で、横断中の女性とタクシーの衝突事故が起こった。検査の結果、加害者である30歳のタクシー運転手の血中アルコール濃度が基準値を上回っていたことが分かった。

加害者は現在逮捕・拘留されている。

3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。